

畜産環境保全情報

発行 …………… 公益社団法人 兵庫県畜産協会

神戸市中央区海岸通1番地

兵庫県農業会館 7階

〒650-0024 TEL : 078 (381) 9362 (代)



発酵ハウス全景

八鹿畜産 養豚部における堆肥処理

～地元求められる豚ふん堆肥の生産～

1. はじめに

「豚好きです、家族と同じくらい」と話す小田垣さん一家が経営する「八鹿畜産 養豚部」は、養父市八鹿町三谷の山奥、緑豊かな自然に囲まれ比較的冷涼な気候と騒音が無い静かなところにあります。

ここでは、約 1,000 頭の豚が飼育され、そこで生産された豚は「おだぎさん家の八鹿豚」として市場出荷だけでなく、精肉店や地元のレストラン等に出荷されています。その豚ふんを利用して生産された堆肥が、平成 25 年度兵庫県堆きゅう肥共励会において「最優秀賞（兵庫県知事賞）」を受賞されたので、紹介します。

2. 施設の概要

発酵ハウス（直線式）：1 棟

堆肥舎：1 棟

3. 堆肥化処理体系



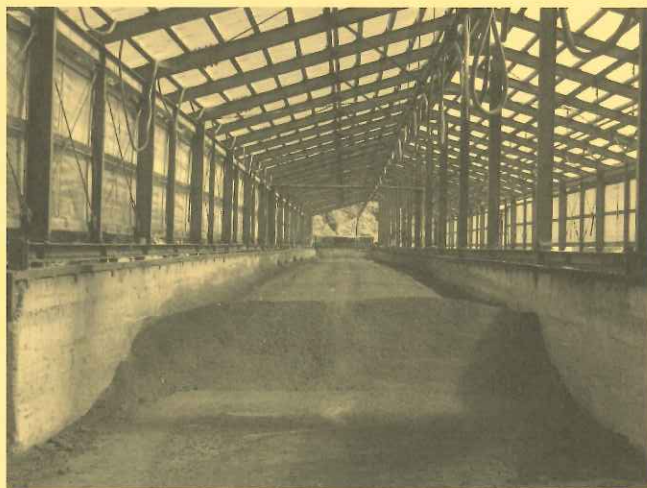
豚舎外観



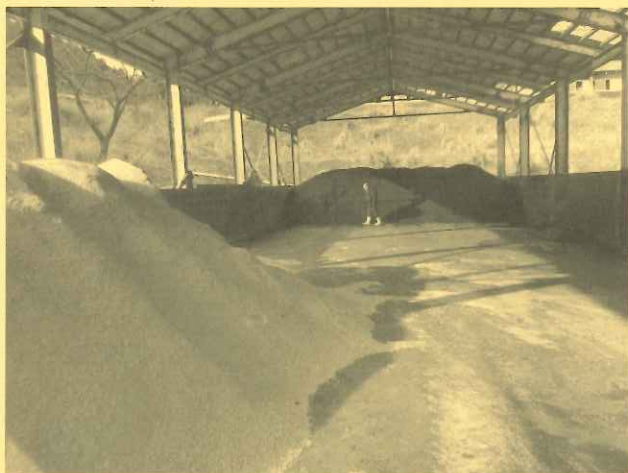
豚舎内部

飼育されている約 1,000 頭の豚から排出された豚ふんは、トラックにて発酵ハウスへ運ばれます

1次発酵：ハウス内にて約1か月かけて発酵させます

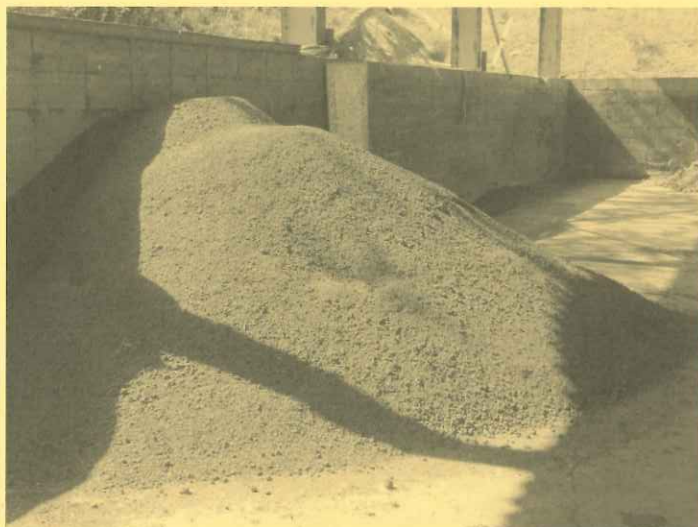


排出口から見た発酵ハウス内部



堆肥舎（製品置き場も兼用）

2次発酵：ホイールローダーで月1回
切り返し、発酵を進めます



出来あがった堆肥

4. 堆肥生産販売実績

価格：バラ販売のみ

肥料袋 100円/袋 (約15kg)

軽トラック 1,000円/台 (差し枠無し)、2,000円/台 (差し枠有り)

2tトラック 4,000円/台、5,000円/台 (配達有り)

販売実績：年間約 約70t

販売先：近隣耕種農家を中心とした個人取引

5. 堆肥の生産状況等

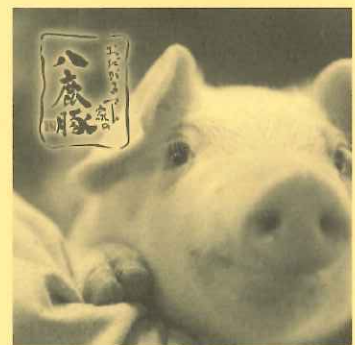
- ・良質の発酵を促すため、固液分離後、オガクズともみ殻で水分調整し、発酵ハウスへ投入しています。
- ・特に冬期期間 (12~4月) は、60~70日かけて堆肥舎での2次発酵を促しています。

表 堆肥分析の結果

水分 (%)	乾物中								PH
	全窒素 (%)	リン酸 (%)	加里 (%)	石灰 (%)	苦土 (%)	灰分 (%)	銅 (ppm)	亜鉛 (ppm)	
27.5	3.46	6.51	3.39	5.01	1.62	32.44	284.7	679.6	6.76

6. 今後に向けて

周辺の養豚農家が後継者不足などから廃業し1戸だけになったため、豚の生産量が減少し、それに伴って堆肥の生産量も減少しました。しかしながら、代表の小田垣 護さんは、近隣農家の「ここの堆肥は野菜を作るのに具合が良い」との言葉を励みに、今後も良質な堆肥を生産したいと考えられています。



朝来農業改良普及センター

普及主査 吉崎 正美